

無縫

No.73

発行 一般財団法人 田澤記念館
住所 佐賀県鹿島市大字高津原434番地
発行責任者 平野重徳・小池幸照
発行所 鹿島印刷株式会社
発行日 2018年1月18日

新年を迎えるにあたって

会長 平野重徳



新年明けましておめでとうございます。

皆様におかれましてはつつがなく新しい年をお迎えのこととお慶び申し上げます。こうしたご祝詞を申し上げますと、皆様方の中には「何を呑気なことを」とお思いの方もいらっしゃるかもしれません。

ご承知の通りここ1年余りの間、世界情勢の変化により、世界経済のグローバル化が進む中で、我々を取り巻く環境はますます予断を許さない状況になっております。また、日本の国内だけを見ても（進まない震災復興、老朽化するインフラ、雇用のミスマッチ、教育問題、社会保障、食の安全性の問題など）、難問が山積しておりますが、まずはこうして無事に新しい年を迎えることができたことを感謝する気持ちだけは、毎年大切にしたいと思っております。

田澤記念館でも、高騰する物価、電気料金の中、皆様のお力で、何とか影響を最小限に留めるべく最大限の努力をして参りました。それに田澤記念館の運営に御尽力、ご協力いただきました皆様にはこの場をお借りして御礼を申し上げたいと存じます。

今年の抱負としては田澤記念館の活動全てを総括し、一日も早く明るい話題を共有できるよう、関係者一丸となって取り組んで参りたいと考えております。

7月22日には、「明治維新150年事業で田澤義鋪顕彰大会」を開催することとなっております。大会実行委員会（鹿島市・生涯学習センター・田澤記念館）を立ち上げ着々と準備を進めているところでございます。会場となるエイブルホールでは、桜の聖母短期大学の三瓶千香子准教授による講演と佐賀の八賢人おもてなし隊の劇も行いう予定にしております。それに、田澤少年クラブ、ユースカレッジからの発表、地域の伝承芸能の出演を考えております。田澤先生の「郷土振興」の一端を再認識されるものと信じます。

これを機会に田澤義鋪先生を鹿島市全体でしっかり学習し故郷の宝として顕彰していただければと思う次第でございます。

皆様におかれましては、本年も変わらぬご厚情ご支援をいただきますようお願い申し上げます。

この1年、皆様のご多幸を心からお祈り致します。

新年のあいさつ

代表理事 小池幸照



新しい年をご健康にてお迎えのことと存じます。かねてから田澤記念館運営に心強いご支援を賜り、衷心より厚く御礼申し上げます。

現在のような社会状況にありながらも、皆様のご厚情により田澤記念館の主たる活動もなんとか進行を続けております。

近年、全国的に「田澤精神」が再認識の傾向を見せておりますことは喜ぶべきことでございます。

佐賀県では、明治維新150年記念さが推進事業を進めております。

鹿島市では当館とエイブル「（一財）鹿島市民立生涯学習・文化振興財団」とが協力して「明治150周年記念田澤義鋪顕彰事業」実行委員会を立ち上げ、前号でお知らせしたように計画し準備をしております。

ご承知のとおり田澤記念館は、未だかつてない危機的状況に立たされており、この状況を打開するため、この推進事業を起爆剤とし、田澤記念館の役割を県民市民に広く知らしめたいと強く念じております。

今後共、どうぞ皆様の支援をいただきますようお願い申し上げます。

田澤少年クラブ

社会人・労働組合・高齢者 共済会

11月19日（日）に赤い羽根街頭募金活動を行いました。ほとんどが初めての経験で、最初声あまり出ていなくて苦戦していました。しかし、募金をしていただく方から「頑張ってるね。」という言葉をいただき、それが自信となり大きな声を出して募金を呼びかけることができました。保護者の方も協力していただき、親子のふれあひもできたようでした。

この活動で、少しだけボランティアの芽が伸びたような感じを受けました。



ユースカレッジ

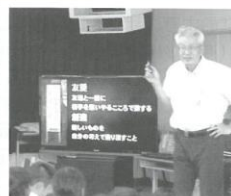


【感想】

孔子は学生時代に習ったことはあるが、こんなに近場の多久で孔子に触れる機会があるとは思わなかった。論語も難しいイメージがあるが、今回の研修で身近に感じることができたので、再度学んでみたいと思った。普段は入ることのできない所にも入れずごく貴重な体験となった。紅葉もきれいで、また機会を作って訪れたいと思う。

（鹿島市役所Y子）

嬉野での出前授業



嬉野市教育委員会のご協力で、嬉野市の小学校でも田澤義鋪先生の出前授業を行うことができました。

ご理解のある校長先生で学校だよりにまで「一事実行」「友愛・創造」を取り扱っていただきました。子どもを通して保護者、地域へと広まっていけばと考えております。

子ども達は、色々感想を書いてくれました。「私も人のことを考え行動して、田澤さんみたいな人になりたい。」「田澤さんは一人でなく、みんなで力を合わせてやるところがすごいと思いました。」

来館者100人を越える(2年連続)

28年、29年と来館者が100名を超えました。

内訳は市内約30%、市外約20%県外約50%です。記念館の前に設置されました看板の影響もあると思います。武家屋敷通りに来たら看板があったのでと言う方が多く、まだまだ田澤義鋪先生のことを世の中に広めていかねばと心を引き締めております。その中で2年連続熊本県の南関地区のサロンからマイクロバスで田澤先生のことを学びに来ていただいています。田澤先生のことを初めて知った。すごい人が佐賀にはたくさんいらっしゃいますね。もっともっと田澤先生のことを広めるように頑張ってください。と言う言葉をいただき、大変嬉しく思っております。



* ご寄付ありがとうございました。*

- 鹿島機械工業(株)様 ○祐徳自動車(株)様 ○東亜工機(株)様 ○森鉄工(株)様 ○宮園電工(株)様
- 祐徳薬品工業(株)様 ○織田病院 様 ○佐賀西信用組合 様 ○鹿島市チャリティーゴルフ 様
- 飯盛直喜 様 ○小池幸照 様 ○山下義則 様 ○竹下宏紀 様